

平成26年度 学校評価集計結果

実践項目 1	学校のホームページを月1回以上更新し、ディスカバリー新聞を周辺地域に迅速に配布する。
実践項目 2	オープンスクールで、説明会や授業及び部活動見学を実施し、中学生に本校の魅力を発信する。
実践項目 3	就業体験、地域とともに心を育てる会、介護施設での活動等に全職員で取り組む。
実践項目 4	夏まつり、遺跡まつり、商工祭等の地域主催行事への積極的協力体制をつくる。
実践項目 5	体育祭や文化祭において、学校評議員やPTA会員を招き、30%以上の参加を達成する。
実践項目 6	PTAの諸事業の実施に当たり、成功に向けて全職員が全面的に協力する。
実践項目 7	年間を通して研究授業を行い、また生徒による授業評価を年2回実施して、職員の授業改善に活かす。
実践項目 8	各教科で生徒の実態に即して、年間指導計画、評価規準、シラバスの作成・改善を行う。
実践項目 9	少人数授業、TT授業など、生徒の興味・関心・実態に応じた授業を行う。
実践項目 10	適切な課題や小テストを通して、家庭学習時間の平均1時間以上を達成する。
実践項目 11	教科指導委員会を月1回開催し、新学習指導要領の実施に向けて取り組む。
実践項目 12	学校設定科目、ディスカバリー科目群について、さらに深化をはかる。
実践項目 13	年3回以上の生徒面談を行い、拡大学年会で共通認識を深め、生徒個々に適した生徒指導を行う。
実践項目 14	各学期に1回全校生徒に学校生活への意識調査を行い、生徒の悩みや不安を早期発見する。
実践項目 15	全職員による一致した指導体制をつくるために、生徒指導の職員研修を行う。
実践項目 16	特別指導を反省指導だけでなく、生徒の更なる成長の機会として多くの教師で指導していく。
実践項目 17	警察、補導センター、補導委員会等との連携を緊密にして、情報交換を行う。
実践項目 18	関係諸機関と連携して、生活の安全を守るための講演会を開催する。
実践項目 19	進路ガイダンスを各学年ごとに年1回以上実施し、望ましい勤労観・職業観の育成を図る。
実践項目 20	進路面談を早期より実施し、面接指導やマナー指導を繰り返し行う。
実践項目 21	年間を通して模擬試験等を計画的に受験させ、学力の伸長度を知らしめる。
実践項目 22	体験学習、インターンシップ等に積極的に参加させ、自己理解を深めさせる。
実践項目 23	上級学校見学会、学校説明会、オープンキャンパス等への積極的参加の啓発を行う。
実践項目 24	資格・検定試験を積極的に受験させ、進路意識の高揚をはかる。
実践項目 25	学校の諸課題について、各部主催による校内研修を年2回以上実施する。
実践項目 26	出張・研修等で得られた成果を職員会議等で報告し、教育活動に活かせるように全職員に還元する。
実践項目 27	教育活動全般をとおして、人権尊重の精神を育てるとともに、共生をめざす人権教育を推進する。
実践項目 28	人権教育に関する職員研修を実施し、正しい認識と理解を深めて指導力の向上を図り、職員の人権感覚を高める。
実践項目 29	学校評価結果を各部・学年で検証し、適宜取組について評価・見直しを行うことにより、次年度へ反映させる。
実践項目 30	機能しやすい分掌・委員会組織をつくる。

